

『 みんなと一緒に 』 0歳児 2月



エピソード

A児がクッション素材の段差に座って一人で遊んでいました。それを見たB児が、A児の方を見て嬉しそうに笑いながら隣に座り、持っていた玩具で遊び始めました。すると、C児とD児も玩具を手を持って側に座り始めました。少しぎゅうぎゅうになって、足が背中にあたったり、お尻が足にのったりしても、お互いに足が当たらないように避けて座りなおしたり、足を引っ込めたりしながら、それぞれ遊んでいました。友達に囲まれたA児はなんだか嬉しそうで、保育者と目が合うとニヤッと笑っていました。

保育者の思い

それぞれが自分の遊びをしながらも、何故かみんなが集まって遊んでいる姿がとても可愛らしく、面白いなあと思いながら、様子を見守っていました。友達と一緒に空間にいる心地良さ、楽しさを感じながら、少しずつ友達との関わり方を知ってほしいと思いました。これからも温かく見守りながら仲立ちしていき、友達と関わる楽しさを感じて欲しいです。

子どもの育ちや学び

- ・周りをよく見るようになり、友達のしていることに関心を持ち、同じことをしようとします。
- ・友達や保育者とふれあう事で安心したり、人と関わる心地よさを感じたりします。
- ・関わりを繰り返していくうちに人との距離感が少しずつ分かってきて、体を動かすなどをして自分で心地よい場所をつくらうとしています。

家庭だったら・・・

大人が家事をしている時、側におもちゃや本を持って来て隣で遊ぶ事も好きだったりします。『大好きな人がそばにいる』それだけで子どもは嬉しいのだと思います。用事をしながらも、様子を優しく見守ったり話しかけたりして一緒にいる空間を楽しんでみてください。